

1 概要

- 平成26年8月の安倍総理のブラジル訪問の際に、農業・食料分野において両国関係を深化させるための官民合同の対話開催を決定したことに基づき、サンパウロにて、第1回日伯農業・食料対話を開催（平成26年12月8日）。在ブラジル日系農業・食品関係企業（26社）、JICA、JBIC、JETRO、在ブラジル日本国大使館の代表も出席し、①伯農業・食品産業の発展、②両国貿易の活発化、③物流の改善について、官民で議論。
- 今後、ブラジルにおけるフードバリューチェーン構築のための政府と民間セクターとの継続的な対話の場として本対話を原則年一回開催すること等に合意し、覚書に署名。

2 出席者

日本側: 針原農林水産審議官、梅田駐ブラジル日本国大使、JICA、JBIC、JETRO、在ブラジル日系農業・食品関係企業等(※)の代表

※ 三井物産(伯日本商工会議所会頭企業)、味の素、伊藤忠商事、NTTドコモ、カンポ(CAMPO)、キリンホールディングス、サカタのタネ、サタケ、サントリー、住友商事、双日、中央開発、東山農場、日清・味の素アリメントス、日本工営、日本通運、日本ハム、日立製作所、フルッタフルッタ、前川製作所、丸紅、三井住友銀行、三菱商事、三菱東京UFJ銀行、ヤクルト、ヤンマー

ブラジル側: ゲレル農務大臣(当時)、ジュンケイラ農務副大臣(当時)、ロドリゲス元農務大臣、トゥッハ元農務大臣等の政府関係者及び伯食肉協会等の民間企業の代表

